

リョウブ（ビョウブ）＜令法・龍尾＞

リョウブ科

リョウブ属

樹形：落葉高木

名前の由来：平安時代ごろの当主によって救荒植物として畑の隅に植え、葉の採取と貯蔵を命じた御触れが出された為、“令しが決めた法律”と言う意味で令法と言う漢字が当てられたと言う説と、リョウブの花が白い尾状に咲くことから、地上に咲く虎の尾と相反する意味で龍尾(リュウビ)と呼ばれていたものが訛ってリョウブと呼ばれたという説がある。

別名：ハタツモリ（畑つ守）

清水高原分布：広範囲

清水高原の数量：非常に多い

撮影日：2015年9月3日

撮影場所：テニスコート周辺

(1300m)

灰汁を抜くことで食する事ができ、その昔はリョウブご飯などに利用されていたと言う。

